

持続可能なオンデマンドバスの運行と、自転車用ヘルメット補助について



質問者
寺嶋 正 議員



(1) 路線バスの維持確保などを含めた、持続可能な公共交通の構築を図るために地域公共交通計画の策定状況について伺う。
(2) オンデマンドバス「のりと足柄」の実証実験が始まった。現在の利用状況等について伺う。
(3) 道路交通法の改正で自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった。ヘルメット着用率向上を図るために購入費用の一部を補助する考えは。



オンデマンドバス利用者の増加に向けた対策を行っていく

A



回答 (町長)

(1) 新たな計画素案の作成について、地域住民や各種団体、国や県の関係機関との協議が概ね整った。住民利用者等の意見を反映して町地域公共交通会議で計画決定する。
(2) 利用状況は本年11月20日現在、パスポート登録件数51件、延べ93人、

システム登録者数は569人となっている。1日当たり80人ほどの利用者はあるがまだまだ少ない利用者の増加に向けた様々な対策を行っていく。
(3) 先進自治体や関係機関との意見交換を行ってきた。松田警察署管内着用率は10%程度と低いことから、自転車用ヘルメットの購入費補助を検討したい。



令和5年12月22日開催 松田町地域公共交通会議

これからの寄地区のまちづくりと活性化について



質問者
中津川 定雄 議員



(1) 第6次総合計画後期アクションプログラムの寄地区のまちづくりの方向性と取組において、新規事業として「スポーツツーリズムの推進」が位置付けられているので次の項目について伺いたい。
① 今年3月に「まつだスポーツコミッション」を設立しているが、寄地区における今後の「スポーツツーリズムの推進」の取組内容について。
② 「スポーツツーリズムの推進」に伴うみやま運動広場や寄テニスコートのリニューアルの方向性について。
(2) 自然休養村の啓発や都市と農村の交流を担ってきた寄自然休養村運営協議会が今年度を以って

既存施設を活用したスポーツツーリズムを推進します

A



回答 (町長)

① 寄地区では各種運動施設を活用したスポーツ団体の合宿誘致やサッカー大会の開催を実施する予定である。
② みやま運動広場や寄テニスコートについては、ニーズに合ったオールシ

ーズ使える施設として、計画的な整備を行い、寄地区の新たな魅力の増進、賑わいと雇用の創出につながるリニューアルが出来ればと考えている。
(2) 寄自然休養村運営協議会の解散は、今年度「寄地区活性化協議会」を設置し、様々なご意見を提案を伺っている矢先の話として非常に残念に思っている。
町としては、運営協議会や自治会長、みやまの里、観光協会など関係団体に意見を伺い、運営協議会がこれまでやってきた取組を継続して実施出来ないか早急に対応していく。



寄自然休養村管理センター